

まとめ

1. 2008年4月から2012年3月までに当院で百日咳症例37例(2007年基準)、17例(2011年基準)が診断された。
2. 性差はなく、6-10歳、11-20歳に多く認められた。
3. 家族例は5組(3組は2011年基準)であった。
4. 予防接種歴では24例/37例(2007)、11例/17例(2011)(ともに約65%)が3回以上接種していた。
5. 我が国でも5歳頃にDPT追加、現行のDTをPを含むワクチンに変更することが急務であると思われた。